日本語

取扱説明書

UHD Blu-rayディスクリライター

この度は、LG Blu-ray Writerドライブをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

ULTRA HD™
Blu-ray

注意

⚠ **注意** :本製品で使用されているレーザーは目を傷つける可能性があります。カバーは開けないでください。
感電防止のため、カバー(または背面パネル)を取り外さないでください。
内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は正規のサービス担当者にご依頼ください。
本書に記載された手順以外での制御や操作は、有害な放射線被ばくにつながる恐れがあります。

⚠ **警告** : 火災および感電防止のため、本装置を雨や湿気にさらさないでください。

警告

ディスクは、ドライブユニット内で高速で回転します。
摩耗、損傷、または規格外ディスクを使用すると、ドライブに悪影響が生じ、使用中にディスクが破損または粉砕されることがあります。ディスクの粉砕は、ドライブ内で損傷ディスクを使用したときにのみ起こります。起こることは極めてまれですが、防止策として次の手順をとることができます。

ドライブにディスクを挿入する前に、必ずディスクを点検してください。

1. **ドライブを損傷することがあるので、摩耗やひび割れ、傷、反りのあるディスク、または粗悪品質のディスクを使用しないでください。**
2. **ディスクの中心にある透明なプラスティック部に傷がないか点検してください。この部分のひび割れは、ディスク粉砕の主要な原因です。**
3. **ハート形ディスクや名刺形のディスクなど、形状が規格外(円形以外)のディスクは再生しないでください。**

ディスク損傷を防止する方法

1. **使用しないときは、ドライブからディスクを取り出してください。**
2. **ディスクは、購入時のパッケージ内に収納し、直射日光を避けて熱源から離して保管してください。**

動作中にドライブに過剰な振動または急な衝撃が加わると、誤動作が発生することがあります。ドライブ内部の結露の原因となりますのでドライブを急激な温度変化にさらさないでください。

重要注意事項

ドライブまたはディスクを取り扱う際は、以下の注意に従ってください。

- 不適切な設置または取り扱いによるデータ損失、および直接的または間接的損失に対して、当社はいかなる保証もいたしません。
- この製品の使用または不具合によって発生した直接的または間接的損害に対して、当社はいかなる責任も負いません。
- この製品によって発生したデータの損失に対して、当社はいかなる責任も負いません。
- データ損失に対する保護手段として、重要なデータはすべてバックアップ(コピー)をおとりください。
- ドライブを以下のような場所に置かないでください。
  - 多湿、高温、埃の多い場所、機械的振動がある場所、直射日光の当たる場所
- ドライブは、水平または垂直に置いて使用してください。傾いた状態では使用しないでください。
- ドライブを寒い場所から暖かい場所に急に移動したり、急に室温を上げたりしないでください。結露が発生して異常動作の原因になる恐れがあります。
- ドライブを移動する前に必ずディスクを取り出してください。ディスクが傷つき、データが損失する恐れがあります。
- 液体や金属などの異物がドライブに入らないようにしてください。
- ドライブの動作中に電源を切らないでください。
- 静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱いにはご注意ください。リストストラップ、ヒールストラップ、マットなどの帯電防止製品を使用して静電気から人体を保護してください。
- この装置を幼児などが使用しないようご注意ください。

目次

目次

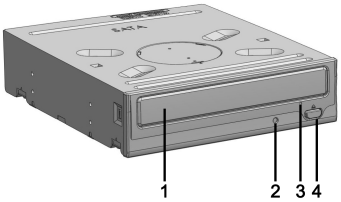
本製品の部位と機能 2
Serial ATA(SATA)ドライブの接続方法 3
デバイスドライバー 5
ディスクの使用方法 6
トラブルシューティング 7
BD, UHD よくある質問 9

- Microsoft®とWindows®は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- DVDロゴは、DVD Format/Logo Licensing Corp.の米国、日本およびその他の国における登録商標です。
- UHD BD, BD のロゴはアメリカや日本、その他の国で登録されているトレードマークです。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品の部位と機能

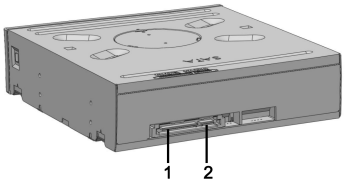
※ドライブの外見と仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。

前面



1. ディスクトレイ
2. アクティブインジケータ
ドライブの動作を示すLEDです。
3. ディスク強制排出ホール
(非常時のみ。ドライブの通電中は使用しないでください。)
4. イジェクトボタン

背面



1. Serial ATA(SATA)電源コネクタ (15Pin)
2. Serial ATA(SATA)コネクタ(データ)(7Pin)

Serial ATA(SATA)ドライブの接続方法

ドライブを設置する前に、以下の点に注意してください。

- 設置する前に用意するもの:
  - プラスドライバー (本製品をPCに取り付けるために必要です。)
  - 本製品を使用するPCのマニュアル

- PC及びPCに接続されている周辺機器すべての電源をオフにしてください。ATX規格のPCは電源がオフの状態でも微量の電流が流れているので、PCの電源ユニットにスイッチがある場合はそれをオフにするか、必ずコンセントから電源ケーブルを抜いてください。

- 作業する前にパソコンのカバーなどの金属類に触れて、人体の静電気を放電してください。

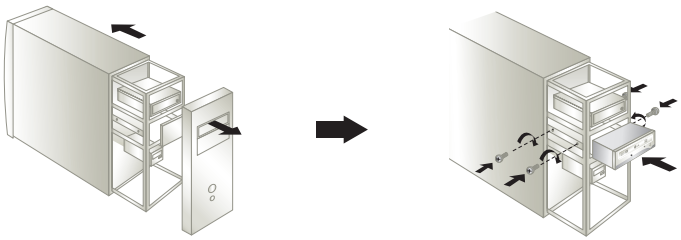
コンピュータカバーの取り外し

PCのすべての周辺機器とPCの電源がオフになっていることを確認し、カバーを取り外します。カバーの取り外しについては、PCのマニュアルを参照してください。

注 : PC内部には鋭利な箇所がある場合がありますので、けがをしないように注意してください。

ドライブの設置

1. 新規増設の場合は、パソコンの5インチベイの前面パネルを外してください。交換の場合は既存のドライブを取り外してください。取り外し方等については、PCのマニュアルを参照してください。
2. ドライブユニットをベイに挿入してください。その際、断線等のもととなりますので、コンピュータ内のケーブル等に過度の圧力が加わらないようにご注意ください。
3. ドライブユニットをミリネジ、ドライブの固定部品等(ケースにより)で固定します。
   もし、ケースのスペースが狭く、ケーブルの接続等が困難な場合は、少しドライブを差込み、先にケーブルを接続してから、固定してください。



注意 : 上記の接続方法は、一般的な手順となります。お使いのPCの形状や構造が異なる場合は、PCのマニュアルを参照してください。

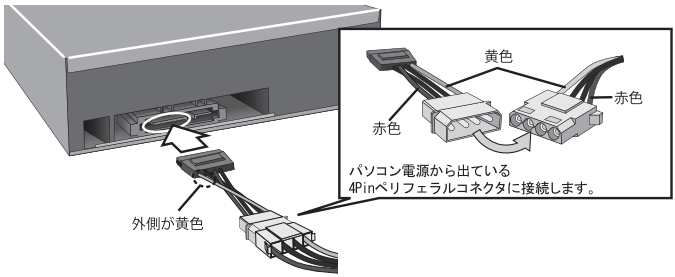
PCへの接続

接続はSATAケーブルを本製品とPCのマザーボードのSATAコネクタと接続します。

SATA 電源ケーブルの接続

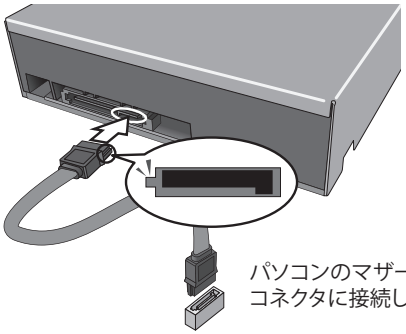
PCの電源ユニットから出ているSATA用の電源コネクタ若しくは、SATA電源との変換ケーブルと接続します。電源ケーブルはドライブのコネクタの左側に接続します。電源ケーブルの凸部が左側になることを確認して、逆さまに繋がないよう注意して接続してください。

注意 : コネクタの不適切な接続は、本製品やPCにダメージを与える場合があります。取り付け作業は、PCのコンセントを抜いてから行ってください。



SATAデータ・ケーブルの接続

データケーブルのコネクタの凸部が右側になることを確認して接続してください。
逆刺しに注意してください。



デバイスドライバー

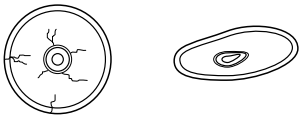
デバイスドライバー

Windows Operating Systemを使用する場合、特別なデバイスドライバは必要ありません。本製品の設置と接続を行った後に、PCの電源を入れてシステムを起動すると、お使いのシステムが自動的にネイティブソフトウェアドライバを認識・ロードします。

ディスクの使用方法

ディスクの使用方法

ディスクにステッカーやラベルシールを貼り付けないでください。偏重心により読み取りエラーやディスクが破損する可能性があります。



この装置のディスクは非常に高速で動作しています。破損、ヒビ、歪みのあるディスクは絶対使用しないでください。ドライブ内部で破砕、粉砕する可能性があります。その際の記録されたデータや怪我、本製品の故障などについて、弊社では一切の責任を負いかねますのでご注意ください。

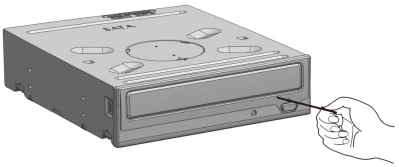
本製品は規格に定められた直径8cmもしくは12cmの正円形の記録メディアのみサポートしています。規格外のディスクは絶対使用しないでください。規格外のディスクでは再生やデータの適切な保存ができない場合があります。

緊急取り出し

このドライブには、ドライブの故障や停電などで必要になった場合、ディスクを手動で取り出せる機能があります。

注意: 非常時以外は、この機能を使用しないでください。

1) PCの電源を切ります。
2) 先の細いもの(まっすぐに伸ばした頑丈な紙クリップや市販のイジェクトピンなど)をディスクトレイの下の小さな穴(強制イジェクトホール)に差し込みます。ディスクトレイが排出されるので、手でトレイをゆっくり引いてディスクを取り出してください。(安全ピン、千枚通しなど先の鋭利なものは使わないでください)。



注意: この機能は緊急時用です。頻繁にこの機能を使用すると誤動作、故障の原因になる場合があります。

* 指でディスクトレイをうまくつまめない場合は、スチール製の大型クリップまたはスプリングクランプを使用して引き出してください。

トラブルシューティング

故障かな?と思う前に

弊社カスタマーセンターにご連絡する前に下記に該当しないかご確認ください。

- ドライブに通電しない
  - パソコンの電源ユニットからの電源ケーブルはしっかりと取り付けられていますか?
  - 延長ケーブル、分岐ケーブル、変換ケーブル等をお使いで、そのケーブルは外れていませんか?

- パソコンが起動しない
  - PCの電源ケーブルとSATAケーブルは正しく接続されますか?
  - 各コネクタは完全に取り付けられていますか?
    ドライブを設置している間に他の接続がゆるくなっている、外れているなどの可能性があります。

- 記録メディアに記録できない(失敗する)、または読み込めない
  - パソコンのパーツそれぞれ(CPU、ハードディスク他)が正常な状態での動作ですか?
  - ドライブに挿入したメディアが汚れていたり、傷ついていませんか?
  - メディア記録時に他のアプリケーションソフトを動作させたりスクリーンセーバーが起動していませんか?
  - 記録するメディアは記録済みのものではありませんか?または、追記型の場合十分な空き容量はありますか?
  - 記録/読み込みシミュレーションテストを行っても失敗しますか?
  - ディスクは記録面を下にして置かれていますか?(レーベル面が上になっていますか?)
  - ドライブかディスクが低温環境から高温環境に移されましたか?(ドライブのレンズ、メディアが結露している可能性があります)

- SATAケーブルは規格に定められている1m以内ですか?

弊社カスタマーセンターへのお問合せの場合は、お使いのPCの情報を出来るだけ多くご用意ください。(具体的な症状は?何が起こりましたか?何をやっている時ですか? エラーメッセージは?PCの使用環境は?など)

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

注意 : この機器を開くとクラス3Bの可視レーザーおよび不可視レーザーが放射されます。光線を浴びないようにしてください。

CLASS 1	LASER PRODUCT

Copyright © 2023 Ver.2.0